

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

さがの木の家

グループの名称

さがの木の家研究会

直近採択グループ番号

06-0396-0740

(グループ代表者)

代表者名

村田 聖一

代表者印

代表者所属先

株式会社住工房プラスアルファ

代表者所在地

佐賀県佐賀市鍋島町八戸溝149番地9

代表者電話番号

0952-36-7505

(グループ事務局)

事務局事業者名

福井木材株式会社

事務局担当者名

田中 順二

印

事務局郵便番号

847-0081

事務局所在地

佐賀県唐津市和多田南先石1番29号

事務局電話番号

0955-73-2111

事務局FAX

0955-75-3666

事務局担当者E-mail

saganokinoie@yahoo.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		13	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		3	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		8	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		4	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0棟				
				0㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟				
				0㎡				
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)							
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸		
	完了実績(竣工予定含む)戸数	2						
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)							
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸		
	完了実績(竣工予定含む)戸数	0						
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)							
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸			
完了実績(竣工予定含む)戸数	0							
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸			
完了実績(竣工予定含む)戸数	3							
優良建築物型								
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟			
完了実績(竣工予定含む)棟数	0							
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡			
完了実績(竣工予定含む)床面積	0							

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) さがの木の家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県・福岡県・長崎県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) さがの木の家研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0396-0740	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	①-a 「パッシブを活用し、夏の気温に配慮した家」⇒ 2方向の通風を基本とし、通風の性能を重視する。 ①-b 「夏の日差しに配慮した家」⇒ 遮熱断熱の性能を重視し、Low-eガラスやカーテン等を採用する。 ①-c 「地盤確認、安心して生活出来る家」⇒ SS方式又は、レイリー波での地盤調査を実施し、現場に適した改良を行う。 ①-d 「耐震に優れた家」⇒ 近年九州でも地震が発生している。よって施主の要望がある場合は耐震等級2以上とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	②-a 地元の職人技術を活かし、技術の継承を推進していく。 ②-b 和風住宅を建築する場合、次のいずれかを採用し、「和の住まいの良さ」を上げていく。 【選択項目】 和風瓦、0.6m以上の軒出、塗り壁、続き間、縁側、床の間、障子	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	③-a 地域の森林の活性化を通じ環境改善を図る。⇒ 地域材を多く活用、木の良さを魅せる仕様(例: 現し)とする。 ③-b 外構は可能な限り樹木などを植樹し、地域の景観に配慮する。 ③-c 地場素材を活用し、伝統の継承と地元産業の発展に貢献する。	○
④①～③の背景	①-a,b 佐賀県は夏は暑い地域に該当する為。 ①-c,d 佐賀県南部、有明海沿岸地域では軟弱地盤が多い為。 ② 市街地周辺には和風住宅が多く、昔ながらの街並みが残っている為。 ③ 佐賀県には、陶磁器や名尾和紙などの名産があり、それらを活用することで意匠を凝らした家作りが可能になる為。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・平成29年度も開催したが、2020年の省エネ基準義務化に向けて実践的な研修や勉強会を開催し、意識を上げていくと共に、確実に準備をしていく。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台は国産松の105角以上とする	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材については、1棟あたり50%以上を使用する	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 基本モジュールは910～1000mmとし、プレカットを前提とする基礎幅は120mm以上とする	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地元の伝統素材を活かす意味で、名尾和紙や陶磁器製の洗面ボウル又は小物類を1箇所以上使用する	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材集計簡素化の為に、プレカットCAD積算書を活用する	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工会社間での職人融通や、「上棟システム」(会員木材店が取組む上棟請負)などのテーマについて、継続的に検討する	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局は、前項の内容を会員工務店に報告すると共に、勉強会や講習会の情報提供をし、参加を推奨する	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 配布済みの「木造住宅工事管理の実務」(JBN編集)に沿った施工を心掛ける。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 自主検査は、「木造住宅工事管理の実務」(JBN編集)に掲載されている「木造住宅施工現場検査チェックシート」を活用し、実施する	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: プレカットCADを活用し、正確な積算を基に見積りを作成する	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 軟弱地盤では、レイリー波は又はSS方式での地盤調査及び、必要に応じて地盤改良を実施する	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 導入済みの会社もあるが、未導入の会社もあるため、週休2日制の導入を促し、年に1度アンケート調査を行ない、経過観察を行なう。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会社によっては資格手当や昇給の実施をしている会社もあり、未導入の会社を含めた全会員に向けた取組みとして、他社の事例を知るセミナー等の開催を検討する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事前に調査を行ない確認をした結果、ほとんどの会社が既に加入をしていた。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: すでに健康診断、安全講習など行っている会社が多かった。未実施の会社には社員の健康管理等実施しやすい面から検討してもらうこととする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) さがの木の家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県・福岡県・長崎県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さがの木の家研究会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0396-0740		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報のメンテ整備基準	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報をいずれかの情報サービス機関に登録する	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「JBNいえもり・かるて」を推奨するが、他の機関でも可とする	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報を登録した場合は、「履歴情報預り証(写し)」を事務局に提出する	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社毎に自主点検ルールを設定し、それに沿って点検する	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修箇所がある場合は住まい手に報告し、協議を行い補修を実施する	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検、補修を実施した場合は、書面をもって事務局に報告する	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引渡し時に住まい手に対して維持管理の仕方を説明する	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年2000名超のユーザーが参加するイベント、「まつらdeフェスタ」において木工教室を開催している	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記の「まつらdeフェスタ」において、出展している会員工務店は、資金計画、各種保険等の相談会を開催している	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 台風被害や地震などの災害時など、地域の特性に起因する維持管理のあり方について、継続的に協議を行う	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「JBN住まいの管理手帳」と長期優良化リフォーム事業HPIにある「現状検査チェックシート」を活用する	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店の倒産廃業時において、当該工務店またはその既存顧客から依頼を受けた場合には、以後の工事、メンテナンス等に関して継承工務店を斡旋する	○	
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当会の提携先である「匠総合法律事務所」を講師として、瑕疵やトラブル事例などに関する勉強会を開催する	○		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	メンテナンスやリフォーム工事等に備え、プレカット工場において伏図を7年間保管する	◎	
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 優先的に実施枠を配分し、必要に応じて事務局がサポートを提供する	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保証検査(配筋・金物)を適切に受ける	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保証検査終了後、保証書(写し)を事務局に提出する	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実施枠配分は未経験工務店に優先配分した後は、確実な物件を有する工務店に配分し、完全消化出来るように調整する	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術向上の為に当会主催の勉強会やJBN等の外部セミナーにも積極的に出席するように勧奨する	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ計算等について工務店から支援要請がある場合、技術的なサポートを提供する	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 28 今年度の参加目標人数 5	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 3	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講師を招いた省エネ関連セミナー開催時に、参加工務店に講習会受講を要請する	○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 耐震、制震などに関する技術、商材を、研修や展示会などを通じて導入を促すと共に、会員の知識向上を図る。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大型木造建築物の増加に伴い、在来工法以外の特殊工法がいづかの可能性について検討を行う	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) さがの木の家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県・福岡県・長崎県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さがの木の家研究会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0396-0740		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	梁桁:「佐伯材(合法木材)」を使用し、耐力が不足する場合には集成材(JAS認定品)の使用も可とする。 土台:「佐賀県産材(合法木材)」又は、「大分県産材(合法木材)」のいずれかとする。 柱:「佐賀県産認定乾燥木材」又は、「佐賀県産材(合法木材)」又は、「佐伯材(合法木材)」のいずれかとする。 間柱:「佐賀県産材(合法木材)」又は、「大分県産材(合法木材)」のいずれかとする。 ※諸事情においては上記以外の地域材の使用も可能とする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	(※このフロー図によらない場合もある) The flowchart illustrates two paths for local materials. The left path, '合法木材の場合' (Legal Wood Case), shows a linear flow: 原木供給者 (Raw material supplier) → 製材工場 (Milling plant) → プレカット工場 (Precut plant) → 建材流通 (Material distribution) → 工務店 (Contractor). The right path, '佐賀県産認定乾燥木材の場合' (Certified Dried Wood Case), shows: 原木供給者 → 認定製材工場 (Certified mill) → プレカット工場 → 建材流通 → 工務店. A '認定証' (Certification) is issued from the佐賀県木材協会 (Sagami Prefecture Wood Association) to the認定製材工場.	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 佐賀県産材については、佐賀県木材協会のHPIにおいて公開されている「在庫情報検索システム」を使用する	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局(木材販売店)は、会員工務店に対し、適宜、地域材価格に関する情報を提供する	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 付与された実施枠に対する地域産材の予想数量等を木材流通企業に予め提供することで、生産計画の合理化に協力する	○
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 18枚 (6枚×3棟)	○
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定坪数 20坪 (1棟)	○
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 6枚 (2枚×3棟)	○
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 6枚 (2枚×3棟) 名尾和紙使用を含む	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 名尾和紙、陶磁器の洗面ボウル、又は小物を採用する	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和風住宅は次のいずれかを採用する(和風瓦、0.6m超の軒出、塗り壁、続き間、縁側、床の間、障子)	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 夏の日差し対策として庇を採用する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 長く住み繋いでいく為に、日常の手入れが欠かせないので、引渡しの際「JBN住まいの管理手帳」に沿ってメンテナンス方法を説明する	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 景観に配慮する為、景観計画等の地域内ではそのルールを遵守する	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: お施主様に和室の採用を推奨し、「和の住まいの良さ」を上げる	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
カ. その他			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
東日本大震災の復興に資する取組			
平成28年熊本地震の復興に資する取組			◎
当会で義援金を送った。「(一社)全国木造建設事業協会」の会員となり、熊本県の団体や関係者と交流を持つことが出来、技術協力や情報共有の場を定期的に設けて協力する。			

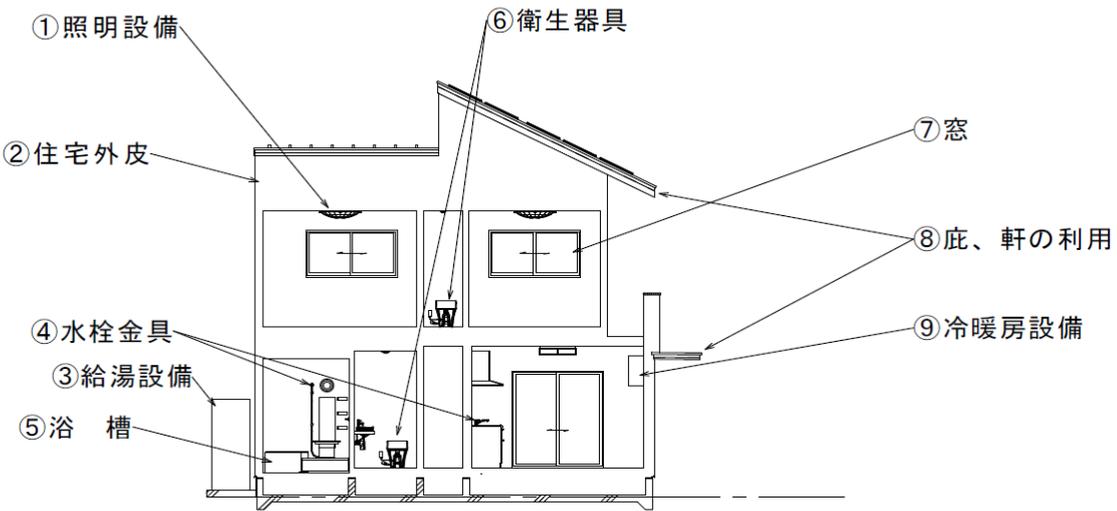
※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) さがの木の家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県・福岡県・長崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) さがの木の家研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0396-0740	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅についての共通仕様。



- ①照明設備 ----- 全ての照明設備は、白熱灯を使用しない
- ②住宅外皮 ----- 外皮は高断熱化を図る
- ③給湯設備 ----- 高効率給湯設備を使用する
- ④水栓金具 ----- 極力、節水水栓とする
- ⑤浴 槽 ----- 可能な限り、高断熱浴槽を採用する
- ⑥衛生器具 ----- 全てのトイレは、節水トイレとする
- ⑦ 窓 ----- 全ての窓はペアガラスを使用し、風通しをよくして春秋の冷暖房費を削減する
- ⑧庇、軒の利用 ----- 南面については、極力、軒または庇を大きく伸ばし冬は日差しを取り込み、夏は日差しを遮る
- ⑨冷暖房設備 ----- 主たる居室の冷暖房は、高効率ルームエアコンを原則とする
- ⑩BELS ----- ゼロ・エネルギー住宅については、必須とする

(ゼロ・エネルギー住宅の性能)

地域区分 : 6
 外皮性能(UA) : 0.6 (W/m²・K)
 エネルギー削減率 R : 112.2 (%)
 " RO : 29.4 (%)
 太陽光発電 : 4.6 (KW)

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。